

紫峰

佛教大学教育後援会報「紫峰」

第118号

平成23年6月発行



「身と心を癒すキャンパス」二条キャンパス開校!!



二条キャンパス1号館

目次

- 2頁……………教育後援会 会長挨拶
- 3頁……………学長挨拶
- 4頁……………東日本大震災に関わる
義援金の募金活動について
- 5頁……………教育後援会事業報告

- 12頁……………佛大ニュース
- 18頁……………大学事務局だより
- 28頁……………佛大カレンダー

～別紙～(各種行事のご案内)
宗教文化ミュージアム・四条センター・通信教育部

※次号は、平成24年1月発行予定です。

教育後援会会長 就任ご挨拶



教育後援会会長 小川 眞乗

平成 23 年度、佛教大学にご入学された学生の皆さん、保護者の皆様、師僧の皆様、ご入学誠におめでとうございます。次世代を担う学生の皆さん方へのお祝いの言葉とともに、3月11日に突然起こった東日本大震災に被災された皆様へのお見舞いの心も込めて、有縁無縁の皆様と心をつなげてつながりあい、末永く支えあい続けることを祈念申し上げます。

わたくしは、本年度、不思議なご縁で教育後援会会長をつとめさせていただくこととなりました大阪の小川眞乗と申します。甚だ愚鈍の身のうえに、浅学不徳の者でございます。皆様にお導きいただきたく、何卒宜しく願い申し上げます。この2年間、一人の保護者・親として佛教大学教育後援会活動等を通じてたくさんのご教示をいただきました。とりわけ昨年度の仏教学部・歴史学部開設記念シンポジウムでは、「仏教」における「人」について、縦の糸という時間や世代と、横の糸というご縁のつながりを紡ぐことによって、“織物”に例えた「自分自身がはじめて存在する」ということを、あらためて深く身に染み込ませていただくことができました。

学生である子どもたちは、親のみならずこれまでたくさんの方々のおかげ様で、ここまで育ててくださったと思います。ひきつづき学生本人とは、家庭からも“適度に”親として教え、見守り、かつ話し合いながら、佛教大学という学びの庭を通して同じ親同士、と一緒に学生の独り立ちへの『後援』につとめたいと願います。このことはこれまでご縁をいただき、ともに育ててくださった、たくさんの方々への感謝とご恩返しとともに、後を続かれる方々へも廻っていくことにもなるのではないかとも思う次第でございます。学生の皆さんには在学中に生涯の友と出会い、卒業後にも同窓生として何年先でも、様々な形でつながりあっていることを祈ります。また親としましては来年度に開学 100 周年を迎える佛教大学有縁の皆様とともに学生

の皆さんの母校となる大学が次の 100 年という縦の糸を紡げるようにと、今年度の教育後援会役員委員の皆様そして、全ての親御様とともに、つながりを深め、紡ぎあいながら、さらには親自身もいくつになっても次の世代の学生の皆さんとともに成長し続けたいとも願います。

佛教大学はハード面でもソフト面でも、実績でも素晴らしい大学です。教職員の先生方が幾重にも学生を一人の人格者として尊重し、様々な角度から教えてくださっています。皆様どうかご安心いただきたいと思います。紫野キャンパス、そして新しく開設された「二条キャンパス」の運営は、人間力を育てるため、磐石の体制を築いてくださっています。

教育後援会活動では大学と共催で、大学会場・地方会場で教育懇談会を開催し、学生の生活や学びや進路について親の視点からも再確認できる場も設けさせていただいています。教職員の先生方が、きめ細かく、そして心を込めて親の想いに応えてくださいます。この会報『紫峰』や佛教大学ホームページ等を通じ、教育後援会活動をはじめ大学の諸々のことについて、ご確認をいただき、ご参加とご協力をお願い申し上げます。

さて、本年は専修念仏の教えを開かれた法然上人の八百年大遠忌の年でございます。3月26日～5月8日には京都国立博物館で『法然上人八百回忌◎特別展覧会 法然 生涯と美術』が開催されました。たくさんの方のご寺院や博物館をはじめ、様々な多くの皆様のお力合わせにより史上初の大回顧展が催され、幾百年もの時を越えて護られてきた国宝や貴重な文化財の数々を拝観する機会をいただきました。この機会を頂戴し、私たちの祖先も数々の大規模な天災地変等の危機を乗り越えてきたこと、そのうえに現在があり、おかげさまで、今ここに生かされていることへの感謝の思いがいよいよ強くなり、自然と手を合わせるができるようになりました。

あらためて佛教大学の学生の皆さんをはじめとする皆様様が、苦楽をともにしながら『明るく・正しく・伸良く』ご縁を大切にしながら人生を紡ぎ、新しいこれからの世、次世代をともに担い合い続けられることを心より祈念申し上げます。

皆様様に、学生の皆さんへの教育環境の一層の充実のため教育後援会活動へのご参加と、引き続きのご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

佛教大学の取り組み

学長 山極 伸之



この4月1日、佛教大学へ入学されました学生の皆さん、そして保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまには、教育後援会の会員として今後ご支援ご協力をいただきますこと、重ねてよろしくお願い申し上げます。

佛教大学は来年、開学100周年を迎えますが、私たちはこの間、変わることなく仏教精神に根ざした人間教育に力を注いできました。「人は人に対して何ができるのか。」これを根源的な問いかけとし、自分自身をしっかりと見つめながら、生まれてから死ぬまでのライフステージの中で、様々な悩み苦しむ人々の存在をしっかりと捉え、そのような人々を支援しながら社会で活躍することのできる人材を養成すること。これが本学の使命です。私たちはこの理念に基づき、教職員一丸となって、学生の皆さんの学びと成長とを支援してまいります。

去る3月11日に発生しました「東日本大震災」は、未曾有の災害として東日本の広範囲に甚大な被害をもたらしました。その際の地震ならびに津波等により多数の方々々が被害に遭われ、大変多くの痛ましい犠牲者が生まれてしまいました。災害の影響は今現在も続いており、被災された方々に対する支援、ならびに復旧に向けた取り組みを着実に進めなければならない状況にあります。あらためて、お亡くなりになった方々に哀悼の意を捧げるとともに、被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。

本学は、地震発生後、学内に今回の震災に対応すべく対策本部を立ち上げ、学生や教職員など関係者の安否確認や注意喚起を行いました。幸いなことに、通学課程において甚大な被害を被った在學生は確認されておらず、現在は教育後援会などの外郭団体とも協力しながら、義援金の募金活動等を通じた被災地支援を進めております。私たちは、今なお被災地で困難な状況下にある人たちのことを想い、できる限りの支援に取り組んでまい

所存です。被災された人々の痛みを受け止めながら、佛教大学として可能な震災支援を、長期的な取り組みとして継続してまいりますので、教育後援会の皆さまにも是非ともご協力をお願い申し上げます。

一方、新入生および在學生の皆さんは、それぞれが選んだ環境の中で、学修や課外活動など、様々な取り組みに挑戦されていることと思います。大学生、大学院生あるいは別科生として、与えられた期間を有意義に過ごしていただくことは、大学関係者のみならず保護者の皆さまの望みでもあろうかと思えます。学生の皆さんを暖かく見守っていただくことは当然ではありますが、時には突き放し、時には厳しく接する機会も持ちながら、その成長と一緒に関与していただきたいと考えております。

現在、開学100周年に関わる事業の一環として、学生の学修環境を向上させるために、老朽化が進んでいる紫野キャンパス内の校舎の全面的なリニューアル工事を進めております。またJR二条駅前に、この4月から新たに二条キャンパスを開設するなど、教育施設の整備拡充も進行しております。あわせて、学内では「学生を主役とする大学」を合い言葉に、学生生活の全面的な支援に向けた取り組みを進めております。これら諸事業は、ひとえに本学在學生の学修環境を向上させるための取り組みに他なりません。保護者の皆さまには、大学の様々な事業に対してご理解とご支援をいただきますようお願いいたしますとともに、学生の皆さんが有意義な大学生活を送るためのご支援とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

このたびの東日本大震災で被災された皆さまに、 心よりお見舞い申し上げます。

佛教大学では、3月14日より学内に義援金募金箱を設置し、支援活動に取り組んでおります。また、あらたに被災された地域への支援活動として、大災害に遭われた学生、同窓および本学関係者の方々をはじめとする被災地域の皆さまを励まし、何らかの力になりたいと思い、義援金の募金をお願いすることにいたしました。皆さまの温かいご協力をお願いいたします。被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

佛教大学長	山極 伸之
佛教大学同窓会長	堀田 岳成
佛教大学鷹陵同窓会長	加澤 昌人
佛教大学教育後援会長	小川 眞乗

募金先： 口座振込の場合

●口座名

「佛教大学義援金口 代表学長 山極伸之」

●口座番号

三井住友銀行京都支店

普通口座 8769171

現金書留の場合 〒 603-8301

京都市北区紫野北花ノ坊町 96

佛教大学総務部総務課

「東日本大震災義援金募金係」

今回お預かりいたします義援金は、日本赤十字社を通じ、被災地域へお届けいたします。

なお、振込手数料は各自でご負担をお願いいたします（三井住友銀行本支店をご利用になれば振込手数料は不要）。また預かり証の発行もいたしませんので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

佛教大学総務部総務課 電話 075-491-2141 (大学代表)
E-mail somu@bukkyo-u.ac.jp

上記の支援等についての詳細は、順次、本学ホームページにてご案内いたします。
佛教大学ホームページ www.bukkyo-u.ac.jp

教育後援会 事業報告

平成 22 年度課外活動表彰式報告

平成 23 年 3 月 14 日 (月)、卒業式終了後の 13 時より、紫野キャンパス中庭において、「課外活動表彰授与式」が挙行され、大学からの表彰の後、河内教育後援会会長よりボランティア賞・課外活動奨励賞が、堀田同窓会会長より課外活動奨励賞が授与されました。

受賞者は以下のとおり (敬称略)



【教育後援会】

- ◆ボランティア賞 (個人の部) 細見周平 (歴史学科 1 回生)
尾崎久美 (人文学科 2 回生)
- (団体の部) ジャズ倶楽部
社会福祉研究会
- ◆課外活動奨励賞 (個人の部) 大野 雄大 (硬式野球部)
- (団体の部) 美術部

【同窓会】

- ◆課外活動奨励賞 (個人の部) 結城 碧 (弓道部)
- (団体の部) 陸上競技部女子中長距離部門

平成 23 年度第 1 回役員会

平成 23 年 5 月 12 日 (木)

於：成徳常照館 5 階 特別会議室

- 案件：1) 平成 22 年度教育後援会事業報告
2) 平成 22 年度教育後援会決算報告
3) 平成 22 年度教育後援会会計監査報告
4) 平成 23 年度教育後援会 1 回生委員選出について
5) 平成 23 年度教育後援会事業計画 (案)
6) 平成 23 年度教育後援会予算 (案) について
・上記案件について、審議・承認されました。

出席者 教育後援会役員 5 名

(河内会長・小川副会長・安藤監事・堀監事・藤原監事)
大学 10 名 (山極学長・清水副学長他担当部課長)

平成 23 年度第 2 回役員会

平成 23 年 5 月 28 日 (土)

於：成徳常照館 特別会議室

案件：1) 委員総会案件確認

・上記案件について、審議・承認されました。

出席者 教育後援会役員 3 名

(河内会長・小川副会長・安藤監事)

大学 10 名 (山極学長・清水副学長他担当部課長)

平成 23 年度委員総会

平成 23 年 5 月 28 日 (土)

於：成徳常照館 常照ホール

- 案件：1) 平成 22 年度教育後援会事業報告および決算報告
2) 平成 23 年度教育後援会委員・役員選出
3) 平成 23 年度教育後援会事業計画 (案) および予算 (案)



・東日本大災害で犠牲となられた方々への黙祷の後、河内会長、山極学長より挨拶。出席者の確認を行い、4 回生委員 9 名、

3 回生委員 11 名、2 回生委員 14 名、1 回生委員 12 名 (計 46 名) の出席、委任状提出 18 名、計 64 名。総会成立要件である委員総数 65 名の 3 分の 2 以上を満たすため総会成立。まず、大学の現況や取り組みについて、清水副学長より説明・報告がなされた後、案件の審議が始まりました。案件 1) については、安藤監事より適正かつ正確である旨の監査報告がされ、承認されました。案件 2) については、河内会長より 1 回生委員および 1 回生代表・別科代表を選出することについて説明がなされ、承認されました (1 回生代表 = 香林氏、別科代表 = 田中氏)。また平成 23 年度の役員選出については、会長 = 3 回生代表委員、副会長 = 2 回生代表委員、監事 = 4 回生・1 回生・別科の各代表委員を選出することについて説明がなされ、承認されました。この案件をもって、平成 22 年度会長河内氏から平成 23 年度会長小川氏に議長を交代、引き続き、案件 3) について審議・承認されました。

以上の議事終了後、新会長からの挨拶をもって閉会しました。

<平成 23 年度教育後援会役員および 1 回生委員>

<1 回生委員>

◆会長	学 科	委員氏名	学 科	委員氏名
小川 眞乘	仏 教	香林 浩道	現代社会	加藤 徳美
◆副会長	日本文	生駒 美由紀	現代社会	永井 康子
安藤 正雄	中 国	松尾 孝行	公共政策	加藤 純子
◆監 事	英 米	藤井 典弘	社会福祉	川原 光雄
河内 良純	歴 史	柿林 浩次	社会福祉	波多江 昌弘
◆監 事	歴史文化	青野 宏通	社会福祉	新谷 裕子
香林 浩道	教 育	後 卓夫	理学療法	辻田 説子
◆監 事	教 育	堀井 利佳	作業療法	西尾 ひとみ
田中 裕史	臨床心理	澤田 典久	別 科	田中 裕史

佛教大学教育後援会会則

- 第 1 条 本会は、佛教大学教育後援会と称し事務局を佛教大学内に置く。
- 第 2 条 本会は、大学と家庭との連絡を緊密にし佛教大学の教育振興に寄与するをもって目的とする。
- 第 3 条 本会会員は、佛教大学学部生および別科生の保護者またはそれに代わる者をもって組織する。
- 第 4 条 本会には次の委員および役員を置き、その任期は 1 年とする。但し、再任を妨げない。
- (1) 委 員 若干名、保護者の互選により佛教大学長がこれを委嘱し、重要会務を評定する。
 - (2) 役 員 会長 1 名、副会長 1 名、監事 3 名、委員中から互選する。
 - (3) 参 与 若干名、佛教大学教職員中からこれを委嘱し、会務に参与する。
 - (4) 会 計 佛教大学財務課長に委嘱する。但し、必要により書記を置くことができる。
- 第 5 条 本会は、次の事業を行なう。
- (1) 大学と家庭の相互連絡
 - (2) 教育に関する研究調査
 - (3) 学生教育の振興に関する事項
 - (4) 佛教大学教育後援会奨学生に関する事項
 - (5) その他必要と認められた事項
- 第 6 条 本会は必要に応じて、委員会および総会を開くものとする。
- 第 7 条 本会の経費は、会員の会費および篤志金をもって支弁する。
- 第 8 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日に終る。
- 第 9 条 本会則の改正を要するときは、委員会の決議による。
- 附 則
- 第 1 条 本会則は、昭和 36 年 4 月 1 日から施行する。
 - 第 2 条 本会則は、昭和 56 年 4 月 1 日から改正施行する。
 - 第 3 条 本会則は、昭和 62 年 5 月 23 日から改正施行する。
 - 第 4 条 本会則は、平成 10 年 5 月 16 日から改正施行する。
 - 第 5 条 本会則は、平成 12 年 4 月 1 日から改正施行する。
 - 第 6 条 本会則は、平成 14 年 4 月 1 日から改正施行する。

平成 22 年度 教育後援会事業報告
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

日 程	教育後援会行事等
平成22年 4月 1日(木)	1 回生総会(入学式終了後開催)
5月 11日(火)	第1回役員会・会計監査
5月29日(土)	第2回役員会・委員総会
5月31日(月)	「教育懇談会のご案内」(春学期開催分)発行
6月 12日(土)	会報『紫峰116号』発行
6月20日(日)	教育懇談会(福岡:福岡国際ホール)
6月21日(月)	教育後援会奨学金支給(春学期)
6月26日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
6月27日(日)	教育懇談会(高松:高松センチュリーホテル)
7月 4日(日)	教育懇談会(金沢:金沢エクセルホテル東急)
7月10日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
7月11日(日)	教育懇談会(津:ホテルグリーンパーク津)
8月31日(火)	「教育懇談会のご案内」(秋学期開催分)発行
10月 2日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
10月 3日(日)	教育懇談会(広島:広島グランドインテリジェントホテル)
10月13日(水)	第3回役員会
10月16日(土)	教育懇談会(仙台:ホテルJALシティ仙台) 【縁日会】
11月 6日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
11月 7日(日)	教育懇談会(米子:ホテルハーベストイン米子)
11月 9日(火)	教育後援会奨学金支給(秋学期)
11月14日(日)	教育懇談会(奈良:エルトピア奈良)
12月22日(水)	他大学教育後援会事業調査(大谷大学)
平成23年 1月 1日(土)	会報『紫峰117号』発行
1月19日(水)	第4回役員会
3月 8日(火)	第5回役員会
3月14日(月)	卒業式・課外活動表彰式

平成 23 年度 教育後援会事業予定
(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

日 程	教育後援会行事等
平成23年 5月12日(木)	第1回役員会・会計監査
5月16日(月)	「教育懇談会のご案内」(春学期開催分)発行
5月28日(土)	第2回役員会・委員総会
6月中旬	会報『紫峰118号』発行
6月18日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
6月19日(日)	教育懇談会(倉吉:ホテルセントパレス倉吉)
6月下旬	教育後援会奨学金支給(春学期)
7月 3日(日)	教育懇談会(徳島:ホテルグランドパレス徳島)
7月 9日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
7月10日(日)	教育懇談会(福井:ホテルエコノ福井駅前)
7月17日(日)	教育懇談会 (名古屋:ザ サイプレス メルキュールホテル名古屋)
8月下旬	「教育懇談会のご案内」(秋学期開催分)発行
10月 2日(日)	教育懇談会(小倉:ブルーウェーブイン小倉)
10月 9日(日)	教育懇談会(富山:パレプラン高志会館)
10月15日(土)	教育懇談会(京都:佛教大学)
10月16日(日)	教育懇談会(岡山:岡山ビジネスホテルアネックス)
10月中旬	第3回役員会
10月下旬	教育後援会奨学金支給(秋学期)
11月 6日(日)	教育懇談会(福知山:ホテルロイヤルヒル福知山)
11月13日(日)	教育懇談会(東京:グランドプリンスホテル新高輪)
平成24年 1月初旬	会報『紫峰119号』発行
1月下旬	第4回役員会
2月下旬～3月上旬	第5回役員会
3月14日(水)	卒業式・課外活動表彰式
日程未定	他大学教育後援会事業調査

【事業概要】

(1) 役員会

教育後援会事業について教育後援会委員の代表である役員が集まり、事業計画や予算および決算について審議を行います。
なお役員会において審議された内容を委員総会にて承認いただき、該当年度の事業がスタートします。

(2) 委員総会

役員会にて審議された事業や予算等を、各学科約 100 名に 1 人の割合で選出された教育後援会委員に承認いただく会です。

(3) 教育懇談会

教育後援会と大学との共催により、保護者の皆様に対して大学の現況報告と修学・就職・学生生活等について個別懇談を行います。

詳細は、「教育懇談会のご案内」にてご連絡いたします。

(4) 会報『紫峰』

教育後援会事業のご案内や大学からのご連絡等をお知らせします(年間 2 回発行)。

(5) 教育に関する研究調査

他大学の教育後援会事業等の視察や研修を行います。

(6) ホームページ

教育懇談会開催案内や WEB 申込、教育後援会事業の紹介を行っています。

(7) 学生教育の振興

・教育後援会奨学金

家庭の経済状況により修学熱意があるにも関わらず学業の継続が困難な学生に対して奨学金を給付しています。

・短期貸付金

1 口 5 千円から 10 口 5 万円までの貸付を行っています。

・宗教情操教育援助

宗教行事への参加やしおり作成に対して補助しています。

・文化活動援助

文化的教養の涵養「京都に学ぶ」(寺院等拝観・観劇補助)を行っています。

また博物館などのキャンパスメンバーシップ年会費助成もを行っています。

・学生活動援助

課外活動団体への援助や広告助成、ボランティア活動支援、教育研究への備品援助、学園祭援助、バス維持管理費援助、優秀団体・個人への奨励、同窓会との交流などを行っています。

・就職対策

就職特別講座開講等へ支援を行っています。

平成 22 年度 佛教大学教育後援会収支決算書

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

《収入の部》

(単位 円・△印は減)

科 目	予 算 額	決 算 額	予算額対比	備 考
会費徴収	33,300,000	33,300,000	0	学部2万円×1,661名、別科5千円×16名
預金利息	40,000	30,696	△ 9,304	定期・普通預金利息
雑収入	0	5,000	5,000	奨学金返還分
前年度繰越金	11,094,197	11,094,197	0	
計	44,434,197	44,429,893	△ 4,304	

《支出の部》

科 目	予 算 額	決 算 額	残 高	備 考
〔事務費〕	1,200,000	821,467	378,533	
・ 役員会費	600,000	434,030	165,970	役員会(役員5名)、教育懇談会、他大学教育後援会、視察、交通費等
・ 印刷費	300,000	226,590	73,410	角2封筒(26,000枚)印刷費等
・ 慶弔費	150,000	65,000	85,000	慶弔費
・ 庶費	150,000	95,847	54,153	資料等送付代・事務局備品・通信費等
〔事業費〕	38,300,000	34,040,541	4,259,459	
・ 総会費	1,200,000	606,674	593,326	委員総会交通費・委員懇親会等
・ 教育懇談費	4,500,000	4,146,508	353,492	会場費・運営費・記念品 「教育懇談会のご案内」制作・送料・Web申込
・ 会報発行費	2,000,000	1,840,133	159,867	『紫峰』(2回)発行印刷費・発送費
・ 宗教情操教育援助費	600,000	600,000	0	授戒会補助、宗教部のしおり等への助成
・ 文化活動援助費	2,000,000	1,252,590	747,410	社寺等入館料補助・博物館等キャンパスメンバーシップ年会費助成
・ 学生活動援助費	13,500,000	11,709,076	1,790,924	課外活動援助・図書購入、トレーニングルーム機器リース援助等
・ 校友会振興費	1,500,000	1,453,949	46,051	学園祭援助(紫櫻祭・鷹陵祭)
・ 学生指導費	1,500,000	1,500,000	0	課外活動の指導補助(課外活動指導者指導費・出張費等)への援助
・ 就職対策費	2,500,000	1,931,611	568,389	就職特別講座・冠講座開講・企業説明会等支援
・ バス維持管理費	1,000,000	1,000,000	0	課外活動送迎等のバス運行・維持管理費への援助
・ 奨学金	8,000,000	8,000,000	0	教育後援会育英奨学金(1種10万×40名、2種20万×20名)
〔積立金繰入額〕	2,000,000	2,000,000	0	平成22年度積立予定
〔予備費〕	2,934,197	0	2,934,197	
次年度繰越金	0	7,567,885	7,567,885	
計	44,434,197	44,429,893	4,304	

《別途会計内訳》

積立金	過年度積立金	15,304,080	過年度積立残額
	今年度積立金	2,000,000	平成 22 年度積立予定額 (災害対策基金等・大学開学 100 周年事業支援)
	計	17,304,080	
短期貸付基金	過年度基金	5,000,000	短期貸付金の財源
合 計	計	22,304,080	

平成 23 年度 佛教大学教育後援会収支予算書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

《収入の部》

(単位 円・△印は減)

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度対比	備 考
会費徴収	32,285,000	33,300,000	△1,015,000	学部2万円×1,610名、別科5千円×17名[平成23年度入学者]
預金利息	40,000	40,000	0	定期・普通預金利息
前年度繰越金	7,567,885	11,094,197	△3,526,312	
計	39,892,885	44,434,197	△4,541,312	

《支出の部》

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度対比	備 考
〔事務費〕	1,150,000	1,200,000	△50,000	
・ 役員会費	550,000	600,000	△50,000	役員会(役員5名)、教育懇談会交通費等 「教育後援会事業調査・研究」他大学教育後援会 校友会事業視察・研修等への参加費・交通費【研究調査費へ】
・ 印刷費	300,000	300,000	0	角2封筒(26,000枚)印刷費等
・ 慶弔費	150,000	150,000	0	慶弔費
・ 庶費	150,000	150,000	0	資料等送付代・事務局備品・通信費等
〔事業費〕	36,700,000	38,300,000	△1,600,000	
・ 総会費	1,000,000	1,200,000	△200,000	委員総会交通費・委員懇親会等
・ 教育懇談費	4,400,000	4,500,000	△100,000	会場費・運営費(本学3回・学外9回開催・梱包作業業者委託【新規】) ・記念品(ペンセット)・「教育懇談会のご案内」印刷・Web申込
・ 会報発行費	2,100,000	2,000,000	100,000	『紫峰』(2回)発行印刷費・発送費
・ 研究調査費	100,000	0	100,000	他大学教育後援会・校友会事業視察・研究等 【役員会費より科目独立】
・ 宗教情操教育援助費	600,000	600,000	0	授戒会補助、宗教部のしおり等への助成
・ 文化活動援助費	2,000,000	2,000,000	0	社寺等入館料補助・博物館等キャンパスメンバーシップ年会費助成
・ 学生活動援助費	12,000,000	13,500,000	△1,500,000	ボランティア活動奨励支援・課外活動援助・備品購入・図書購入 トレーニングルーム機器リース援助・奨励賞・県人会等
・ 学友会振興費	1,500,000	1,500,000	0	学園祭援助(紫櫻祭50万円・鷹陵祭100万円)
・ 学生指導費	1,000,000	1,500,000	△500,000	課外活動の指導補助(課外活動指導者指導費・出張費等)への援助
・ 就職対策費	2,500,000	2,500,000	0	就職特別講座・冠講座開講・企業説明会等支援
・ バス維持管理費	1,500,000	1,000,000	500,000	課外活動送迎バスリース援助
・ 奨学金	8,000,000	8,000,000	0	教育後援会育英奨学金(1種10万×40名、2種20万×20名)
〔積立金繰入額〕	1,000,000	2,000,000	△1,000,000	平成 23 年度積立予定
〔予備費〕	1,042,885	2,934,197	△1,891,312	科目間流用を認める
計	39,892,885	44,434,197	△4,541,312	

《別途会計内訳》

積立金	過年度積立金	17,304,080	過年度積立残額
	今年度積立金	1,000,000	平成 23 年度積立予定額 (大学開学 100 周年事業支援・奨学金基金・災害対策基金等)
	計	18,304,080	
短期貸付基金	過年度基金	5,000,000	短期貸付金の財源
合 計	計	23,304,080	

教育懇談会開催

教育懇談会は、教育後援会と大学との共催により保護者の皆さまに大学の現状報告や個別懇談を行うもので、大学をより身近に感じていただき、保護者同士や大学との和を広げていくことを目的として毎年各地で開催しています。

大学の取り組みを知っていただき、お子様との接し方や保護者としてのあり方などを今一度考えていただく機会として、また保護者同士の交流・親睦の場として、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

今年度は本学3回、学外9回の計12回開催いたします。

- ※ 地方会場開催においては、開催近隣地区よりお越しいただきやすいように、13時からの開催としております。
- ※ 本学会場開催においては、今年度は、全体会の後、「学部（学科）別懇談会」「就職特別講座」「事務局個別懇談会」を開催いたします。詳細につきましては別途送付しております「平成23年度教育懇談会のご案内(春学期)」をご確認ください。（秋学期開催分は8月下旬頃に発送予定です）
- ※ 「佛教大学トップページ (www.bukkyo-u.ac.jp)」⇒「保護者の方へ」⇒「教育懇談会」⇒「教育懇談会申込みフォーム」からもお申込みいただけます。

開催区分	開催日	開催地	会場
春学期	6月18日(土)	京都	佛教大学
	6月19日(日)	倉吉	ホテルセントパレス倉吉
	7月3日(日)	徳島	ホテルグランドパレス徳島
	7月9日(土)	京都	佛教大学
	7月10日(日)	福井	ホテルエコノ福井駅前
	7月17日(日)	名古屋	ザサイプレスメルキュールホテル名古屋
秋学期	10月2日(日)	小倉	ブルーウェーブイン小倉
	10月9日(日)	富山	パレブラン高志会館
	10月15日(土)	京都	佛教大学
	10月16日(日)	岡山	岡山ビジネスホテルアネックス
	11月6日(日)	福知山	ホテルロイヤルヒル福知山
	11月13日(日)	東京	グランドプリンスホテル新高輪

◆◆◆ 教育後援会文化事業 『京都に学ぶ』 ◆◆◆

教育後援会文化事業『京都に学ぶ』は、「佛科大学に入学し、京都で学生生活を送る佛大生に京都の伝統文化や古都の芸術に直接触れる機会を与えることはできないだろうか」という思いから、課外学習を援助する目的として、平成11年度より行っています。この『京都に学ぶ』という名前には、「『京都』という土地で学ぶ」という意味と「日本を代表する古都京都から学ぶ」という2つの意味が含まれています。内容は、寺院や美術館・博物館について鑑賞費の補助を行っています。保護者の皆様にもご利用いただけますのでお子様と一緒に是非ご利用ください。

なお、鑑賞券がなくなり次第、本年度の補助は終了とさせていただきます。

●対象

学部生・別科生・外国人留学生・在学生保護者

●寺院・美術館・博物館

■知恩院 (Map A)

浄土宗総本山。宗祖法然上人が、1175年(承安5)吉水に設けた草庵に始まり、その後、二代源智上人により基礎が築かれ、火災や兵乱に遭い徳川家康、秀忠、家光により現在の壮大な伽藍を形成された。法然上人の像を安置する御影堂(国宝)は1639年(寛永16)建立になる大建築で、大方丈、小方丈、勢至堂、経蔵、三門(国宝)、唐門、大鐘楼、集会堂、大庫裡、小庫裡と文化財指定建造物が並ぶ。三門(国宝)はわが国最大の門で近年解体修理され偉観をとりもどした。大小方丈前の回遊式庭園は、僧玉淵坊作と伝えられる。国宝の紙本着色法然上人絵伝(48巻伝)、阿弥陀二十五菩薩来迎図など多数の文化財を所蔵。建立：1234年(文暦元)

■龍安寺 (Map B)

臨済宗妙心寺派。1450年(宝徳2)細川勝元が徳大寺家の別荘を譲り受け、妙心寺義天和尚を開山とし禅寺に改めた。石庭として有名な方丈庭園(史跡・特別名勝)は三方を築地塀(土塀の屋根は柿葺)に囲まれた枯山水の平庭で、「虎の児渡しの庭」とも呼ばれる。白砂に15個の石を配した名園。方丈の東庭には龍安寺垣があり、その横に秀吉が賞賛したと伝わる侘助橋がある。また、その東庭を隔てた東北隅にあるのが茶室「蔵六庵」である。1994年(平成6)12月「古都京都の文化財」として、「世界遺産条約」に基づく世界文化遺産に登録された。

■直指庵 (Map C)

1646年(正保3)隠元禅師の高弟独照性円禅師が草庵を結んだのが起こり。直指人心の黄檗の正統を守り寺号をつけ直指庵とした。荒廃したが、幕末に近衛家老女村岡の局が再興。現在は浄土宗。

■願徳寺 (Map D)

地図に載っていない京都一小さな拝観寺院。凛とした観音様がおられます。都合のつく限り、一人で来られてもお話します。本尊は国宝の如意輪観世音半跏像です。

■常照寺 (Map E)

1616年(元和2)日乾上人が開創、鷹峰檀林(学寮)と称された。寛永(1624-44)のころ、島原の2代目吉野太夫が帰依し、朱塗りの山門を寄進した。これが現存の吉野門で、吉野太夫の墓や太夫ゆかりの茶室遺芳庵がある。日蓮宗。毎年4月第3日曜には吉野太夫花供養が行われる。建立：1616年(元和2)

■清凉寺 (Map F)

“嵯峨の釈迦堂”で知られる浄土宗の古刹。987年(寛和3)裔然(ちょうねん)が中国から帰国し、大清凉寺の建立を計画。没後、弟子の盛算が棲霞寺に、師が宋より請来の釈迦如来立像を

安置した。体内に内臓を形どった納入物があり、生身如来といわれている。建立：895年(寛平7)頃

■高麗美術館 (Map G)

在日朝鮮人・故鄭詔文氏が設立。主に高麗、朝鮮王朝時代的美術品を収蔵。陶磁器、絵画、金工品、石造美術品のほかに家具、民具類もあり、所蔵品は約1700点。年に4回企画・特別展も開かれている。朝鮮半島で育った「美」を専門に展示。開館：1988年(昭和63)10月25日

■立命館大学国際平和ミュージアム (Map H)

2005年4月よりリニューアルオープンしました。「15年戦争」の実相を、被害・加害の両面にわたって充実させるとともに、冷戦後の世界構造の変化と、そこで引き起こされる紛争・戦争についても展示しています。2階部分に新しく「平和をもとめて」についての展示室を設置し、地球上に生起するさまざまな「暴力」と、それを克服するために活動する市民団体(NGO)の紹介、またさまざまな角度からの「京都からの平和発信」の紹介をおこなっています。戦没学生の遺作、遺品を展示する「無言館」(長野県上田市)の協力を得て、「無言館/京都館・いのちの画室」を開設いたしました。1992年(平成4)建設。

所在地マップ



県人会について

「県人会」とは、同郷出身の在學生と佛教大学同窓会支部の皆さんとの交流を深める会として、教育後援会および同窓会支部からの援助のもと開催しております。在學生の皆さんには、是非この機会に、友達や同窓生と人脈を広げ、社会人になるための素養を身につける場として、この「県人会」を多いに活用していただきたいと思っております。

保護者の皆さまからも、積極的に参加するようお声掛けをお願いいたします。

※現在は、「広島県」と「福井県」の2県のみで開催ですが、今後、教育後援会や同窓会支部のご協力のもと、開催拡大を計画して参ります。

平成22年度開催実績

<第12回 広島県人会>

日時：平成22年11月26日(金)

参加者：18名



<第1回 福井県人会>

日時：平成22年12月3日(金)

参加者：17名



平成23年度開催予定

<第13回 広島県人会>

日時：平成23年12月3日(土)

会場：京都市内ホテル

今年で13回目を迎える「広島県人会」。幹事を務める3名の学生も気合十分。「前回よりも多く皆に集ってもらい、広島弁が飛び交う会にしたい」と意気込みを語ってくれています。先輩にあたる同窓会広島支部の皆さんとの交流や他学科の同級生、先輩・後輩と地元ネタで盛り上がりたりと、この日だけは会場が“広島県一色”になること間違いなしです。

【第13回学生幹事】



(左から川本君・佐々木君・石原君)

<第2回 福井県人会>

日時：平成23年12月16日(金)

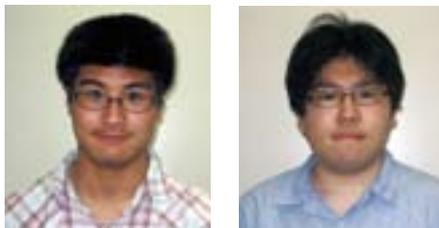
会場：京都市内ホテル

昨年度より開催された「福井県人会」。

初めての開催にもかかわらずアットホームな雰囲気でした。今年も幹事を2名の学生が務めてくれます。「京都に居ながら、福井県を感じられる会にしたい」と意気込みも十分。

同窓会福井支部の皆さんや他学科の同級生、先輩・後輩との交流を深めて貰えればと思います。

【第2回学生幹事】



(左から津田君・堀口君)

●会場や参加申込方法等は、詳細が決定次第、在學生宛に送付します。

(お問い合わせ先) 佛教大学校友会事務局 電話 075-491-2141 (大学代表)



平成23年度
入学宣誓式を挙行

4月1日（金）、平成23年度の入学宣誓式が紫野キャンパス、鷹陵館2階メインホールで挙行されました。午前の部で仏教学部・文学部・歴史学部・教育学部・別科（仏教専修）、午後の部で社会学部・社会福祉学部・保健医療技術学部の式が執り行われ、新入生の新たな門出をお祝いしました。



平成23年度 入学者数 [総計 1,703名]

学部	課程	入学者数
学部	仏教学部	69
	文学部	317
	歴史学部	216
	教育学部	249
	社会学部	379
	社会福祉学部	300
	保健医療技術学部	80
	学部計	1,610

修士課程	課程	入学者数
修士課程	文学研究科	28
	教育学研究科	19
	社会学研究科	3
	社会福祉学研究科	3
	修士課程計	53

博士課程	課程	入学者数
博士課程	文学研究科	14
	教育学研究科	4
	社会学研究科	3
	社会福祉学研究科	2
	博士課程計	23
別科	別科	17



～身と心を癒すキャンパスへ～ 二条キャンパス1号館 完成！

二条キャンパス1号館完成



平成21年度末から工事が始まり、1年数ヶ月の工事期間を経て二条キャンパス1号館が完成しました。JR二条駅周辺は、京都市の文化的・教育的拠点として南に立命館大学、北には京都府医師会館や京都府歯科医師会館などの建物が立ち並んでいます。その中に佛教大学二条キャンパス1号館が加わりました。

引渡し後に事務局や研究室、図書室等の移転が順次行われ、平成23年3月末には在学学生を、4月には新入生を迎え入れることができ、学生たちの活気ある声が聞こえています。

佛教大学にとって初めての2キャンパスであるため全てに改善の余地



があります。今後も学生たちと一緒に明るく開放的なキャンパスにしていきたいと思えます。なお、1階部分は自由にご覧いただくことができます。

紫野キャンパスも間もなく！そして1号館（旧本館）の解体へ…

紫野キャンパスの新1号館A棟も、間もなく全容を見ることができます。平成22年の9号館（旧図書館）解体に始まり、A棟建設工事も順調にすすんできました。空調等の機器・設備の試運転や内装工事等の受け入れ準備工事も急ピッチで行っています。また、引渡し後の事務局移転や教室仕様の最終確認も同時に進めています。

新1号館A棟の実運用が始まれば、次は1号館（旧本館）の解体作業にかかります。現在の1号館は、以前には入学式や卒業式などの式典も行われた講堂や教室も多くありましたが、現在は改修を重ねて事務局棟に近い位置付けの建物となっています。古くから佛教大学の玄関となってきた1号館ですが、年数も経過して老朽化がすすんでいます。多くの方々には名残惜しさを感じつつ、これからの学生たちのことを考えながらいよいよ解体作業に入ります。



紫野キャンパス整備工事中！ 種々の規制等へのご理解とご協力を

紫野キャンパスでは、前述のとおり整備工事を行っている関係から、学内および周辺での通行や車両乗入れについて制限させていただいております。学内通路も頻繁に変更することとあわせて、大学へお越しの際には必ず公共交通機関をご利用いただきますよう、ご理解とご協力をお願いします。

硬式野球部

京滋大学野球連盟

平成23年度 春季リーグ戦準優勝！



3月24日（木）に京滋大学野球連盟平成23年度春季リーグ戦の開会式が行なわれ、翌日25日（金）よりリーグ戦が開始しました。本学は全7節中6節までを勝越し、最終節にて同じく6節までを勝越している京都学園大学との直接対決を迎えました。しかし、ヒットはでるもののなかなか得点につながらない本学に対し、少ないチャンスで得点した京都学園大学が2戦とも勝越し、惜しくも準優勝という結果に終わりました。

みなさまの暖かいご声援ありがとうございました。引き続き、秋季リーグ戦でのご声援をよろしくお願い致します。

陸上競技部（女子中長距離部門）

第75回京都学生陸上競技対校選手権大会

4月16日（土）～17日（日）に西京極競技場で第75回京都学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。本学の選手の中でも、この大会に向けて調整してきた小川智香（現社3）は、女子5000mにおいて見事優勝し、タイムも自己ベストを更新する快走を見せました。

この大会での結果は以下の通りです。

1500 m	2位	前田 彩里（現社2）	4：35.33
	6位	竹上 千咲（中国2）	4：45.89
5000 m	優勝	小川 智香（現社3）	16：11.90
	4位	平井 恵（教育4）	16：42.41

第59回兵庫リレーカーニバル

4月23日（土）～24日（日）に第59回兵庫リレーカーニバルが神戸市須磨区のユニバー記念競技場にて行われました。女子10000mに出場した吉本ひかり（教育4）は、昨年自ら樹立した日本学生新記録には及ばなかったものの積極的なレース展開で、見事2位入賞を果たしました。

この大会での結果は以下の通りです。

5000 m	7位	平井 恵（教育4）	16：09.58
10000 m	2位	吉本 ひかり（教育4）	31：45.82
	6位	石橋 麻衣（人文4）	32：37.25
	7位	森 知奈美（英米3）	32：40.39

第88回関西学生陸上競技対校選手権大会

5月12日（木）～15日（日）に長居陸上競技場にて第88回関西学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。女子1500mで渋谷璃沙（社福1）が快走を見せ2位に入賞したのを筆頭に好成績を収めました。この大会の結果は右記の通りです。

1500 m	2位	渋谷 璃沙（社福1）	4：24.15
	6位	小川 智香（現社3）	4：29.18
	8位	竹上 千咲（中国2）	4：30.22
5000 m	5位	森 知奈美（英米3）	16：18.65
10000 m	5位	竹地 志帆（社福3）	33：56.09
	7位	平井 恵（教育4）	34：47.35

第21回 紫櫻祭

紫櫻祭は毎年新入生オリエンテーション期間中に行われている学友会主催のお祭りで、21回目を迎えました。今年は4月1日(金)～6日(水)に行われ、課外活動団体による中庭でのパフォーマンスや学内での勧誘活動により、キャンパス内が活気に満ち溢れ賑やかになりました。新入生にとって、これからの大学生活をより良いものとするきっかけになったことでしょう。また昨年度に引き続き、学生を中心に禁煙推進キャンペーンが行われ、2012年4月1日よりスタートする学内全面禁煙に向けて、ビラ配りを通じて禁煙推進をするとともに、禁煙サポートの案内や喫煙ルール・マナーへの呼びかけも行われました。



第45回鷹陵祭 「more action, more smile」

10月30日(日)～11月1日(火)に開催される第45回鷹陵祭のテーマは、鷹陵祭実行委員会が学内アンケートで募った結果、「more action, more smile」に決定しました。すべての祭りは笑顔なくして成り立ちません。年に一度の一大イベント、鷹陵祭も参加する一人一人がアクションを起こしてこそ盛り上がり、笑顔があふれるのではないのでしょうか。すべての来場者が笑顔になるためには、鷹陵祭に参加するすべての人々が、人と人とのつながりを意識することが大切です。このテーマには祭りを通して絆を深めることにより、佛教大学の学生のみならず老若男女すべての参加者が今まで以上の笑顔であふれて欲しいという思いが込められています。

様々な世代の方々に安心して楽しんでもらえるお祭りを創りあげる、笑顔を約束する、ということを目指し、学生達が創り上げる鷹陵祭へぜひご来場下さい。



(第44回 鷹陵祭より)

「地域で学ぶ、地域に学ぶ」 佛教大学コミュニティキャンパス

本学は、京都府南丹市、京都市上京区北野商店街の2地域と「コミュニティキャンパス協定」を結んで、教育・研究の交流をすすめています。

「コミュニティキャンパス」とは、地域振興、教育、福祉などさまざまな課題を、佛教大学の学生・教員が地域の人々と一緒に取り組んでいくことを取り決めた地域です。地域全体を本学のキャンパスと考えて活動しよう、「コミュニティキャンパス」の名称はそこから来ています。

<コミュニティキャンパス南丹（京都府南丹市美山町）>

本学は、2004年2月、(旧)美山町（2006年1月に南丹市と合併）と協定を結び、町内に設けた本学施設「美山荘」を拠点に、地域調査研究、フィールドワーク実習授業の実施、地域行事への参加などの活動を推進しています。



佛教大学「美山荘」
(南丹市役所美山支所より徒歩5分)



コミュニティキャンパス美山での活動について（抜粋）

■フィールドワーク

地域振興、教育、福祉などを研究テーマに実習・演習・インターンシップなどを「佛教大学美山荘」を拠点に、充実した社会資源活動を活用した地域の人にも加わっていただく形のフィールドワーク授業を展開しています。

■美山フォーラム

「美山フォーラム」とは、本学と南丹市と美山まちづくり委員会とが主催するフォーラムで、美山町の地域活性化を目的とし2006年度より毎年美山文化ホールで開催され、美山町内外から多くの方々が来場し熱心に耳を傾けております。

「美山の魅力と可能性」を共通テーマに、中山間地域のまちづくり課題である「モデル・フォレスト推進」、「Iターン・Uターン定住促進」、「特産品開発と販売」、「景観・環境保全」の4つの話題に絞って行われております。

昨年度は第5回目を数え、2011年2月に開催いたしました。「美山の魅力と可能性Ⅴ～めざせ！美山ブランド～」と題し、基調講演と、パネルディスカッションとして、実際に特産品づくりに取り組む方々の活動報告とともに、目指すべき「美山ブランド」をさまざまな視点から幅広くとらえて討論されました。



美山フォーラム（2010年度）



農業体験収穫風景（2010年5月）

■農業体験

美山荘が所有する田畑で、地元の農家の方より指導していただき、もち米、サツマイモなどを栽培いたします。

本年度は、作付けを5月15日に実施、収穫を9月中旬に予定し、全学生に参加を呼びかけております。

収穫物は附属幼稚園や福祉施設、野宿者支援施設などへの餅つき、地域交流活動に利用しています。

■美山産官学公連携協議会

2007年度に発足した地域住民・行政・本学が地域発展と人材育成に寄与し、効果的に連携・協働事業を推進するために美山産官学公連携協議会を創設しました。協議会では、定住者促進・特産品開発・景観・環境保全・モデルフォレスト推進の4つのプロジェクトが実施され、その内のモデルフォレスト推進プロジェクトでは、行政や地元、企業と協定を締結し、美山町宮脇地区で、植樹や間伐、下草刈など、里山保全を行っています。

本年度は、7月16日に下草刈、11月5日に間伐を予定しており、全学生に参加を呼びかけます。

また、美山町内の河川清掃・整備活動、自然観察会にも参加しております。

その他のプロジェクトも地域住民・行政・本学教員との会合が頻繁に行われ、地域発展のため、活発な議論が交わされております。



モデルフォレスト活動（下草刈）
(2010年7月)

<コミュニティキャンパス北野（京都市上京区・北野商店街界隈）>



北野商店街とは2004年11月にコミュニティキャンパス協定を結び、拠点施設「ゆいま〜る」を商店街の中に設け、ここを拠点に各種イベントや展示会などの開催、地域行事への参加、起業・チャレンジショップ、『北野新聞』の発行など、地域と大学の連携活動を企画・展開しています。



佛教大学コミュニティキャンパス 北野拠点施設（愛称：ゆいま〜る）

■住所：京都子ども文化会館向かい
京都市バス「北野天満宮前」バス停より徒歩5分
「千本中立売」バス停より徒歩10分

■連絡：TEL・FAX 075-464-0366



佛教大学コミュニティキャンパス北野
拠点施設（愛称：ゆいま〜る）

コミュニティキャンパス北野での活動について（抜粋）



学生Café運営実習（2010年8月）

■チャレンジショップ

NPOやビジネスを立ち上げたい学生、コミュニケーション能力や企画力、プレゼンテーション能力を高めたい学生のための、企業家マインドをもつ人材育成を目的に、学生Café運営実習（※）やセルフヘルプ商品販売などを「ゆいま〜る」で行います。

本年度の学生Café運営実習は、8月下旬から9月上旬にかけて行う予定です（本学HPでお知らせいたします）。お近くにお立ち寄りの際は、ぜひともご利用ください。

■北野新聞

学生たちの目線で地域の中の情報を発掘し、学生の手による地域新聞が『北野新聞』（※）です。現在まで18号が発刊されており、地域の方々と一緒になって、新しい地域メディアを創造し、それを地域へと還元しています。

※『北野新聞』は全学共通科目の「ロジカル・コミュニケーション」および「キャリア開発3」、学生Café運営実習は同じく全学共通科目「キャリアイクステンション」および「キャリア開発応用2」の実習であり、コミュニティキャンパス教育連携事業の一環です。

■北野フォーラム

「北野フォーラム」とは、本学が主催するフォーラムで、北野商店街及びその地域の活性化を目的とし2006年度から毎年開催され、今後の北野地域活性化に向けた取り組みや、本学と地域の連携の在り方について様々な視点から話し合われるとともに、北野地域界隈における地域の方々や本学のコミュニティキャンパス事業の活動について、担当者や主催者、参加者からの報告も行います。

昨年度は、第5回目を数え、2010年11月に開催いたしました。

地域の方々や、衆議院議員、京都市議会議員、京都市関係者なども参加いただき、意見や励ましをいただきました。



北野フォーラム（2010年度）

<酒づくりプロジェクト>

「酒づくりプロジェクト」とは、2008年度より開始された有志学生によるプロジェクトで、伝統産業品である「日本酒」を取り上げ、田植えから収穫、酒づくり、ラベルデザイン、販売プロモーションまで農作物が商品になるまでの過程を実際に体験しながら学んでいこうというものです。コミュニティキャンパス南丹で作ったお米を使い、京都伏見の招徳酒造で蔵元と共にオリジナル日本酒を企画・立案します。

本年度は、4月29日に仕込み米の田植えを行い、5月には酒蔵見学会を実施いたしました。

今後プロジェクトメンバーは、醸造する酒のコンセプトやラベルデザインなどについてミーティングを重ね、秋の収穫、そして仕込みに向けて、活動していきます。



完成報告会（2011年3月）

※コミュニティキャンパスで行われる行事やプロジェクトへの参加は、随時学内掲示や大学HPで周知・募集しております。

教学部だより

教学部長 岡崎 祐司

学生を支えるために

新年度が始まり、一か月がたとうとしています。新生は新鮮さと戸惑いを感じながらも大学の授業に少し慣れてきたところかと思います。四回生は卒業と就職を控えこれまでとは違う緊張感をもって四月を迎えたはずです。二回生、三回生も専門的な勉強を深めつつ自分の目標に向かって学修を積極的に進めていく、大切な時期にさしかかってきたといえます。

大学は、ここから若者を社会に送り出す教育機関です。したがって、ひとりひとりの学生が目指している進路、専門領域にふさわしい力をつけて、大学を巣立ってくれることがわたしたちの願いであり目標です。もちろん、保護者のみなさまも同様のお気持ちだと思います。

その際に最も重要なのは、学生自身の自覚と意欲です。学生が学びの主人公として目標をもって主体的に授業に臨み、大学の中で力を獲得していく姿勢をもってくれなければなりません。知識、理論の獲得とともにこうした自覚や意欲をどう引き出すかが今日の大学教育の課題になっています。こうした観点から、FDといわれる組織的な教育改善に本学も取り組んでおります。

しかし、厳しい社会・経済情勢を目の前にして不安を膨らませたり、大学の環境にすぐになじめず迷っていたりする学生がいないわけではありません。すべての学生が目標に向かって迷いなく一直線に進んでいくわけではなく、悩みや不安、迷いを抱えながら歩んで行くものです。こうしたことから、学生支援も必要になってまいります。

また、「実質重視の単位認定」という考え方のもと、一年間の単位登録上限を50単位に設定し、1セメスターでの15週の授業回数確保（そのため祭



日でも授業を行う場合があります）を行っております。実は一週間の時間割における授業の空き時間は「遊び時間」ではなく、授業の予習・復習など自習の時間となります。

したがって、自らの興味関心と進路をよく考えて授業科目の履修登録を行うこと、特に免許・資格については自らの進路をしっかりと考えながら選択すること、自習を欠かさず授業に出席することが重要になります。

これらを踏まえて、各学部の先生方も学生支援に熱心に取り組んでいただいているところです。保護者のみなさまにおかれましても、迷ったり戸惑ったりしている様子が見受けられる場合は、学生の気持ちに寄り添いながら、励まし支えていただくことをお願いしたいと存じます。

もし、学生の学修状況などで不安をおもちの場合は、教育懇談会にご出席いただき担当の教職員にご相談いただきたいと思います。

ひとりひとりの学生が充実した学生生活をおくれるよう、学生支援の充実に努めてまいります。保護者のみなさまのご理解ご協力をお願い申し上げます。

国際交流センターだより

国際交流センター長 野崎 敏郎

海外体験を経て成長する学生たち

本学は、アメリカ、オーストラリア、韓国、中国、台湾、ベトナム、モンゴルの大学と交流協定を結んでおり、それにもとづいて相互交流を積極的にすすめています。本学学生の海外留学にさいしては、学費・住居費にたいする減免や補助など、さまざまな支援をおこなっています。英米学科または中国学科学生に限定されたプログラムもあります。

ここでは、全学科学生に開放されている短期研修を紹介しましょう。本学が提供している短期海外語学研修には、英語、中国語、朝鮮語の三種類があります。いずれも、現地で学んだ成果は卒業所要単位として認定されます。

①英語

開催地：佛教大学ロサンゼルス校（アメリカ西海岸）
実施時期：2011年8月24日～9月11日、19日間
（このうちホームステイ4泊）
参加費：335,000円（2010年度実績）

開催地：デザート・カレッジ（アメリカ西海岸）
実施時期：2012年2月、20日間
（このうちホームステイ15泊程度、詳細日程未定）
参加費：255,000円（2010年度実績）

②中国語

開催地：西北大学（中国陝西省・西安市）
実施時期：2011年8月25日～9月7日、14日間
（大学内ゲストルーム宿泊）
参加費：158,000円（2010年度実績）

③朝鮮語

開催地：聖公会大学校（韓国・ソウル市）
実施時期：2011年8月6日～23日、18日間
（外国人学生寮宿泊）
参加費：約164,000円（2010年度実績）

私は、この2月に実施されたデザート・カレッジ研修の引率をしました。渡航前は、どちらかという引込み思案で不安そうな表情をしていた学生たちが、二週間ほど経つと見違えるように精悍な顔立ちに変わり、すみやかにコミュニケーション能力を身につけ、カレッジのあるパーム・デザートやロサンゼルス市内を闊歩するようになりました。ホームステイ先の子供と実の兄弟のように親しくなり、帰国後も英語メールのやりとりをしている学生もいます。現地の先生方やステイ先のホスト・ファミリーからも、ともすれば自己主張ばかりが強すぎるアメリカの若者にくらべて、日本の若者はとても礼儀正しいという好意的なご意見を伺うことができ、うれしいかぎりでした。

学生時代の貴重な時間を、こうした有益な海外体験のために費やすことには大きな意義があります。また、政情不安や反日感情の予想される地域にかんしては、国際交流課のスタッフが日々情報収集に努め、現地にいる学生たちの安全確保のために尽力しています。受け入れ先の大学・機関にも全面的なご助力・ご配慮をいただいています。

研修にさいしては、渡航費・滞在費等の負担が極力軽減されるよう工夫しております。また昨今の円高の影響で、現地における各種支出は比較的割安になっています。ここでは紹介しなかった各種海外留学制度等も含め、詳細は国際交流課までお問い合わせ下さい。



パーム・デザートとロサンゼルスの間にある巨大な風力発電基地にて

学生部だより

学生部長 西川 利文

4月より学生部長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。

学生部は学生支援を担うフロント部署であり、学長の掲げる学生主体の大学作りの最前線にある部署です。このような重要な部署の長を果たすには非力ですが、今年1年、全力でその任に当たりたいと思います。



キャンパスリニューアル下での学生の「居場所」確保

学生たちが生き生きとした学生生活を送るためには、快適な住空間が必要であることはいうまでもありません。しかし、現在キャンパスリニューアル計画に基づく校舎の建て替えが進められ、普段でも狭いキャンパスが、より手狭になっています。こうした状況下で、課外活動団体に属してクラブボックスのある学生以外の多くの学生は、学内に居場所を見つけることが難しくなることが危惧されます。今年度からは学習情報プラザがリニューアルされ、新たな学生の居場所になることが期待されますが、屋外における椅子の増設や授業時間外の教室開放など、学生の声を聞いて施設部などとも調整しながら、快適な空間となるよう改善していきたいと考えます。

心身のケアの充実

大学の大量化の状況の中で、多様な個性を持った学生が入学してくるようになりました。そうした中で大学生活に十分に適応できずに、心身に不調をきたす学生も増えてきているようです。学生部ではこのような学生に対応するため、健康管理を主に担う保健管理室と心のケアを主に担う学生相談室を所管していますが、今日の状況ではこの二つの室が連携することも必要ですし、気軽に相談できる空間になるように、さらなる改善も進めていきたいと考えます。

課外活動の充実

正課（授業）と並んで重要な課外活動について触れておきたいと思います。強化指定団体の硬式野球部と陸上競技部女子中長距離部門は、その指定の趣旨に応じて着実に成果を残してくれています。しかし最近、文化会・体育会所属の課外活動団体をはじめとする諸団体の活動は、やや低調になる傾向があるように見えます。充実した学生生活を送るために課外活動は重要な役割を果たすと考えますので、その活性化の方策を検討したいと思います。それと並んで、課外活動は学生が中心となるものですが、顧問をはじめとする学内外の指導者の方々との綿密な連携のもとで行われ、団体内での危機管理の体制も確立されるべきだと考えます。この点の再確認も行いたいと思います。

キャンパス全面禁煙について

これまで本学では建物内禁煙を推進してきましたが、本年1月にキャンパス全面禁煙に関する宣言が出されました。これを受けて、「キャンパス全面禁煙に向けた推進プロジェクト会議」が設置され、3月末には2012年4月1日の全面禁煙実施に向けてのロードマップが提案されました。現在、その実施に向けて同会議で鋭意検討しております。

最後に、学生部は学生サービスの部署として、日常的に学生と接しております。そこで、窓口対応をはじめとして、学生たちに対して丁寧で的確な対応と情報発信を心がけたいと考えております。

「学習のことで困ったときにも」

学生相談室カウンセラー 實藤 聡子

こんにちは、学生相談室です。学生相談室は、学生さんにとってなんでも相談できる場所です。保護者のみなさま方も、学生さんのことで不安に思われたり、どう接したらよいか迷われた場合には、お気軽にご相談いただけたら幸いです。

学生相談室では、具体的実際の情報提供から、将来の方向性が見えないなど進路・就職に関する相談、また「眠れない」「食べられない」など深刻な症状を伴うような相談まで、様々な相談をお受けしています。

昨年度の利用者数は418名で、そのうち保護者からのご相談は56名でした。年々保護者からのご相談件数は増えています。

その背景には、保護者の若い頃と今の学生さんを取り巻く状況とのギャップがあるのではないかと思います。親御さんのご経験からだけでは、子どもさんをどう理解して、どうアドバイスしたらいいのか戸惑われることも多いのではないのでしょうか？

実際、大学のシステムも大きく変化しています。今のシステムでは、毎日どの授業をどこで受けるのか、自分に課題が出されているのか、いつまでにどこへ出せばいいのかなどを、大学のホームページ・携帯ポータルサイト・電子掲示板などで常にチェックする必要があります。高校まではクラスがあり担任がいたので、自分に必要な情報は教室の自分の席に座っていれば与えられ問題なく学校生活が送っていた学生さんも、大学になると毎日の必要な情報を自分で調べなければなりません。

そのような情報を初めからうまく管理できる学生さんもおられますが、大抵は周りの友達とああでもないこうでもないと言いながら覚えていくようです。

中には、ご自身が大学生活を送る上で必要な情報の取得・管理がとても苦手な学生さんもおられるようです。結果として、「遅刻が多い」、「レポートを期限内に出せない」ということになってしまい、周りから見ると、やる気がない、怠けている、不注意などというような見方をされがちです。しかし、よく話を聞いてみるとご本人にはやる気はあり、努力もしているのに、うまく行かないままどうしたらいいのか途方にくれているという場合があります。

そのような場合には、学生相談室や、学生課・教務課や学科の先生方からの具体的なサポートで単位登録、レポート提出や卒論制作などをクリアしていくことが可能になります。

もし、子どもさんの様子を見ておられて、どうもうまく対応できていないようだとか、授業にはまじめに出席してテストも受けているのに単位が取れていないなどにお気づきの場合は、ぜひ学生相談室へご相談下さい。「大学生にもなってこんなことで」と思われるようなことでも、後から「やはり早めに連絡しておいてよかった」と思われることもあります。ご遠慮なくご相談頂ければと思います。

学生相談室は、月曜日から土曜日までの終日午前9時半から午後5時まで4名のカウンセラー（臨床心理士）が常駐し、いつでも相談をお受けできるようにしています。

継続的なカウンセリングも行っています。必要な場合には、保健管理室の学医へ医療相談を依頼したり、学外の医療機関をご紹介させて頂くことも出来ます。

相談の他に、貸出図書やランチタイム、グループワークなど、学生さんが気軽に足を運びやすく、また学内での居場所や仲間作りのきっかけになるような活動もしています。

原則として学生ご本人の相談内容の秘密は守りますが、学科の先生方や学生課・教務課・保健管理室等と協力してサポートする必要がある場合は、ご本人の同意を得て、調整をお手伝いすることもできます。同様に保護者の方々へのご説明も、ご本人の同意のもとさせていただきます。

学生相談室直通番号 075-493-9095

(月～土 9:30～17:00)

東日本大震災の影響で困難な状況にあったり、不安になったりしておられる学生さんについてのご相談もどうぞ学生相談室までお寄せ下さい。



若年者と生活習慣病

保健管理室 学校医 依岡 省三

「生活習慣病」という言葉を耳にする機会が増えました。それは、日常生活における習慣が誘引になる高血圧・高コレステロール血症・糖尿病などの病気を総称しています。本来これらの病気は40～60歳代に発症するのですが、実際には20歳代からの日々の生活習慣が基礎になっていると言えます。

食事の飽食化・西欧化に伴い、日本人の平均脂肪摂取量は年々増加しています。1950年代は20g/日以下でしたが60年代には36g、70年代は55g、90年代には60gとはっきり数字に表れています。スーパーやコンビニの惣菜、ファミレスやハンバーガーショップ、インスタントラーメン・ポテトチップス等のジャンクフードなど高カロリー・高脂肪の食物を好む習慣が出来てます。学校給食でも残さず食べる人気メニューの頭文字をとると「おかあさんやすめ、ははきとく」(オムライス・カレーライス・サンドイッチ・焼きそば・スパゲティー・目玉焼・ハンバーグ・ハムサンド・ギョーザ・トースト・クリームスープ)となります。

身長と体重のバランスを示す指標として、BMI(体重kg/身長(m)×身長(m))が用いられます。BMIの正常値は18.5～25未満です。男子学生では年々25以上の肥満者が増加する傾向にあります。受験勉強に伴う運動不足もひとつの要因と思われます。また下宿生活で外食の増える学生は注意が必要です。過去にはハンバーガーショップでバイトをし、3食ともハンバーガーになり、急激に体重の増えてしまった学生もありました。「自分は太りやすい体質」などと考えず、日々の食生活と運動習慣を改善する事が大切です。反対に女子学生では「スタイルが良くなりたい」という過度のやせ願望からBMIが低くなり過ぎる傾向があります。

保護者の皆様におかれましては是非お子様の体型の変化にも気を配ってあげてください。大学生時代の生活習慣が30年後の健康に大きく関係していくと思います。

バランスのよい食べ方とは？

1日に20～30品目を好き嫌いなくいろいろな食材を食べよう



主菜＋一汁二菜

ファーストフードやコンビニに注意
意外にカロリーが高いため、食べ方に注意しましょう。



ボランティア室 活動予定 (2011年度)

新年度を迎え、ボランティア室にはたくさんの施設・団体・教育機関より、ボランティア募集の案内が届き始めています。また、『ボランティア活動の推進』を目的とした企画を、学生スタッフが計画を進めています。以下は、現時点で決定している企画です（追加が生じましたら、電子掲示板・掲示板・大学ホームページ等で案内します）。

■ボランティア団体説明会

ボランティアに興味や関心を持った学生が、今後のボランティア活動につなげていけることを目標として、毎年開催しています。ブース形式で行いますので、興味を持った団体へ足を運び、直接お話を聞いていただけるようにしています。

<開催日時>

2011年5月18日(水)
15:00～18:00(入退場自由)

<開催場所>

鷹陵館1階 多目的ホール

<参加団体(施設種別)>

※ 確定次第、電子掲示板・掲示物で案内します。
参加団体は、こども・青少年・障がい児・障がい者・高齢者・まちづくり・医療等の団体を予定しています。



～去年の様子～

■ボランティア体験ツアー

「ボランティア活動に関心があるが、一人では行きにくい」「最初は誰かと一緒に行きたい」という声が学生から寄せられたこともあり、数年前からボランティア室の企画として実施しています。

体験ツアーの場所は、大学の近隣施設に協力をいただいています。

今年度の予定は未定ですが、学生から「ボランティアに行きたい」という相談が寄せられたら、その都度学生スタッフがツアーを計画します。1回生も気軽に声をかけていただければと思います。

■『プラン・スポンサーシップ』への参加

2010年度から実施している海外企画です。これまでは国内でのボランティア企画を実施してきましたが、学生の海外ボランティアに対する関心も高いことから、活動推進の一環として取り組むことになりました。

用語の解説

☆スポンサー (佛科大学ボランティア室)

☆チャイルド

地域開発活動に主体的に参加している子ども達や家族、地域住民の代表。交流を通じて、スポンサーに地域の状況や活動の進捗、成果などを伝えます。スポンサーにとっては、地域をうかがい知ることのできる『窓』のような存在です。チャイルドは、基準に従って地域住民が選ばれます(年齢は0歳～18歳まで)。

<活動の紹介>

スポンサーは、開発支援に必要な48カ国に住む子どもや住民たちが進める地域開発を、資金面から継続的に支えます。

チャイルドとは、定期的に手紙や写真を通じて交流を行い、子どもや家族・住民の状況を見守ります。

ボランティア室では、ベトナムの『ガオ村スクールスポンサーシップ(学校全体の支援プラン)』と『カンボジアのある地域』の支援を行っています。

今後の活動については、機関紙『maitri』で報告いたします。活動に興味を持った学生は、是非ボランティア室へお越しください。

<活動の委託先>

財団法人日本フォスター・プラン協会 (<http://www.plan-japan.org>)

■いわてっこ応援! 学生ボランティアバスプロジェクト参加

2011年3月11日に発生した『東日本大震災』では、甚大な被害が出ました。

本学におきましても、学内で募金活動を行っていましたが、NPO法人さくらネットの企画する『いわてっこ応援! 学生ボランティアバスプロジェクト』に参加することとなり、4月8日～11日の間、岩手県釜石市において“たこ焼き”の提供・子どもたちを中心とした避難住民の方々との交流を行ってきました。今回をきっかけに、今後も被災地の支援を続けていく予定です(活動が決定しましたら、ホームページ・掲示板でお知らせします)。

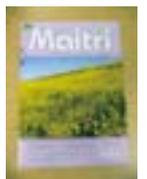


■機関紙『maitri』の発行

学生スタッフ自身で、発案から執筆までを行っています(ボランティア室前・学生課前に設置しています)。

学生の目線からボランティアに関する記事を書くことで、在学生にボランティア活動を身近に感じてもらうことを目的としています。

内容は、ボランティア体験談・ボランティアの探し方(募集案内等)・ボランティア団体へのインタビュー・ボランティア室イベントの案内・活動報告が中心です。



■『ボランティア室案内』の発行

ボランティア室では、ボランティア活動の初心者に対しては『活動手順』・経験者に対しては『ボランティア室の利用方法』を幅広く広める為、冊子を発行しました。

ボランティア室の認知度は上がってきているものの、活用の仕方については、十分に伝わっていませんでした。

冊子は、学生課前・ボランティア室前に設置していますので、ぜひ一度ご覧いただき、今後の活動のために、参考にいただければと考えています。



【ボランティア室は、7号館2階へ移りました】

ボランティア室は、2011年3月末に鹿浜館1階から7号館2階へ移り、新年度を迎えました。学生のフリースペースの中にあるので、より利用しやすくなったのではないかと考えています。

何卒、今後ともご支援をくださいませう、よろしくお願い申し上げます。



キャリア支援部だより

キャリア支援部長 松尾 俊秀

■これからの「キャリア」を考えよう

昨年より私がテーマにしている『これからの「キャリア」を考えよう』について少し述べます。改めて「キャリアって何？」と問うと、おおよその方は答えに一瞬詰まります。しかし、私たちが口にする、また、メディア等でも目に耳にする「キャリア」ということを、どのように自分自身で捉えるかということが、今後の生き方に大きく影響するのではないかという考えから、今ここで整理してみることにします。

「キャリア(career)」を辞書でひくと、「職歴」「経歴」「生涯」「生き方」などとされていますが、どれも一言説明であり、しっくりこないところがあります。元々、日本語でカタカナ表記になっているものは、ぴったりと当てはまる日本語がないことが多く、逆に言えば、ぴったりと漢字やひらがなに変換することができないものをカタカナにしている傾向があります。漢字・かな論はともかく、「キャリア」という言葉を私たちはよく使用しますが、共通認識(定義)に基づいた考えをしておかなければ、互いの会話やアプローチにズレが生じてしまいます。

一般的に使われている「キャリア」関係の言葉として、キャリアウーマン、キャリアアップ、キャリアチェンジ、キャリアを積む、キャリアを築く、キャリア形成、キャリア開発、キャリアデザイン等々たくさんあります。これらの「キャリア」という言葉は、後に続く言葉によって意味が少しずつ変化してまいります。例えば「キャリアウーマン」という言葉からは、ニュアンス的には「仕事ができる」「髪も服もバシッと決めている」「身のこなしがスマート」「憧れの的」「憧れの眼差しで見られる」「自分に自信がある」「語学ができる」等の女性を想像します。「キャリアチェンジ」からは、「転職」といった想像でしょうか。これらの言葉を、一言ではなく、説明的な分類にすると、

- ① 職場・職業に関する立場の上昇(昇進や出世)、憧れの対象
- ② 仕事ができる、経験を積んで箔がつく、スキルがアップする
- ③ 個人の生涯に通じた職業選択に関する活動・心構え、または、個人の生涯に通じた仕事に関する生き方のプロセス

とすることができるとは思いませんか。そして、今、使われている「キャリア」という言葉は、③の「個人の生涯に通じた職業選択に関する活動・心構え、または、個人の生涯に通じた仕事に関する生き方のプロセス」という意味で使用されることが多いとすることができます。そこで③を中心にし、さらに追究すると「私たち一人ひとりが生涯にわたり向き合っていくものであり、自らが育てていくもの」とすることができます。そうすると、キャリアは単なる経験ではなく、私たちが、知的に・身体的に・情緒的に・社会的に成長(発達)していくのと同様に、キャリアも各個人の成長(発達)に応じて成長(発達)していくものとなります。つまり、それは、「人の一生と同居しているものであり、人生そのものを指し示すこともできるもの」となります。こう考えると、昨今の「キャリア」という言葉に対しては、種々のご意見はあるかも知れませんが、理解しやすいのではないのでしょうか。

このように理解しますと、「キャリア」というものは、一時的

や突発的、突然に成長(発達)するものではなく、自分の成長(発達)にあわせて、コツコツと成長(発達)していく(またはさせていく)ものであることも理解できます。しかし、辛辣な表現が許されるならば、積み重ねがなければならぬものということに気づかず、短時間の取り組みだけで、あるいは、ある日突然爆発的に成長(発達)するものだと思います、日常の学びを蔑ろにしている学生が多いのが現実です。私たちは、母の胎内から誕生してもすぐに歩くことはできませんし、言葉を使うこともできません。ひとりで食べることもできません。人間は成長ということにおいては、とても時間のかかる動物です。そのことから「キャリアを人生そのもの」と捉えたとき、それが成長(発達)するのに時間がかかり、積み重ねが必要であるということが容易に理解できるものとなります。

私は、「キャリアとは、人それぞれに応じて形成し、発達させていくものである」という考えに立ち、常に今ある自分の姿・力量を振り返り、足りないものを焦らずにじっくりと身につけていけるような支援をしていきたいと考えています。そして、学生の皆様に投げかけるだけではなく、共に考えていこうという気持ちを『これからの「キャリア」を考えよう』という言葉に託しています。また、この思いから、その時々に応じた就職講座等を組み立て提供していく支援も重要ですが、必要とされる学生一人ひとりに寄り添えるような新たな支援の形として「勉強会(仮称)」(詳細はキャリア支援部刊行物『人間力をつける(2011年度版)』参照)をこの春より立ち上げました。この「勉強会(仮称)」では、大学生を取り巻く環境、大学授業を能動的に受けることにより育成できる力、就職活動の4つの作業への取り組み等々について、私の言葉で伝えています。どこまで力になれるか一抹の不安もありますが、私自身も、常に今ある自分の姿、力量を振り返り、足りないものを焦らずにじっくりと身につけていくことを学生とともに実践していくことが不可欠であると考え、学生の皆様のキャリア形成・発達の一助になればと考えています。

最後に、大学生を取り巻くひとつの環境である就職状況は、とても厳しい状態が続いています。キャリア支援部だけではなく本学の教職員は、学生の皆様に対してできることは何かを常に考えていることは言うまでもありません。学生の皆様には、大学が何をしてくれるかではなく、自分自身のために大学で何ができるか・したいかを常に考えて、その思いを私たちに届けて欲しいと願っています。それに応えていくのも私たちの支援・本懐でもあります。当然、私たちの力だけでは為しえないことが多々あり、保護者の皆様方のご支援やご協力を頂戴しなければなりません。私は、保護者の皆様と本学の教職員が、お互いの立場を理解し合い相互協力のもとに学生一人ひとりに対して最善を尽くしていく三位一体の支援をお願いしています。その三位一体の支援こそが、学生一人ひとりとこれからの「キャリア」を考えていく不可欠なものであると考えています。何卒、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

■就職・進路支援について

進路・就職課長補佐 山下 仁男

就職活動の早期化や長期化を問題視し、採用選考時期を現状よりも遅くすることが日本経団連の倫理憲章の見直しではされました。その対象は平成25年卒となる3年生以降ですが、現4年生の選考においても、既に一部業界ではその意向を受けた採用活動が行われております。それらを踏まえ、今年度の就職・進路のサポート体制には以下のような変更を加えています。

- 求人情報の拡大をめざした新たな求人情報検索システムの導入
- キャリア・アドバイザーの増員（5月以降、8名から9名へ）
- 「4年生向けフォローセミナー」の回数増加や「論文対策セミナー」の開講 など

さて、冒頭にあげた倫理憲章の見直しに関しての是非を問うのはこの項の目的から逸れてしまうので省きますが、この影響を「就職活動」の視点からのみ考えてみます。おそらくはリクルートスーツを着始める時期が遅くなるというだけで、それまでに十分な準備しておかなければならない現実にはなんら変わりがないでしょう。夏期に集中するといわれる選考試験は、その日程の短縮化や応募機会の減少が想定されます。さらに3年以内の既卒者もエントリー可能となれば、書類選考によるふるい分けが激化し、必然的に従来以上に難度の高い就職試験対策が要求されることとなります。何を以て「就職活動」と判断するかで見解は異なりますが、自己分析や業界研究、筆記試験対策に着手し始めることをスタートとすれば、選考時期が遅くなることは、「就職活動の長期化が固定された」と解釈の方が賢明であると考えています。

採用活動スケジュールの変更という、ここ数年にはない大きな転換期に学生の皆さんは立っています。限りない可能性を秘めた将来の夢に少しでも近づけるよう、いまできる努力を毎日の生活の中で少しずつ積み重ねていって欲しいものです。

■平成22年度 卒業生進路状況について

平成22年度卒業生（1,393人－平成22年9月卒19名含む）の進路調査が完了しました。本学の全卒業生に対する就職率は全学部平均66.8%（931人）、文学部は53.8%（233人）、教育学部は62.8%（142人）、社会学部は68.1%（248人）、社会福祉学部は81.8%（242人）、保健医療技術学部は89.2%（66人）でした。全学部では前年度比3.1ポイントの減となっています。

卒業時に就職を希望しない者（不詳含む）の率は、卒業生比9.3%（129人）＜前年度8.1%＞でした。進学率は9.3%（129人）＜前年度7.8%＞、進路未定者（就職浪人）の率は14.6%（204人）＜前年度14.6%＞でした。

就職率を男女別にみますと男性60.8%＜前年度比3.4ポイント減＞であり、女性が72.8%＜前年度比2.4ポイント減＞となっています。

前年度（平成21年度）全国4年制大学卒業生の平均就職率（文部科学省学校基本調査卒業後の状況調査より）は約61%であり、平成22年度の就職率が同程度と想定しましても、学生は厳しい就職戦線のなかよく健闘しているといえます。

また、卒業生のうち求職者（1,135人）を母数とした就職率は、全学部で82.0%＜前年度83.1%＞、文学部は71.5%＜前年度77.4%＞、教育学部は79.3%＜前年度75.9%＞、社会学部は82.7%＜前年度84.0%＞、社会福祉学部は91.7%＜前年度90.5%＞、保健医療技術学部は100.0%＜前年度98.4%＞でした。

なお、学科別・分野別の統計につきましては、後日送付します「'11就職情報」に掲載いたしますので、割愛いたします。

■キャリア支援部 スタッフより

- 就職活動において、三種の神器とはリクルートスーツ、パソコン、スマートフォンと言われています。その中で特筆すべきは、スマートフォンです。今や、就職活動生の大多数がスマートフォンを使用しているとメディアで取り上げられます。就職活動において「いつでも、どこでも」が当たり前になっているようです。そのニーズを汲み取り、「佛教大学 大阪就職支援サテライト」を平成22年10月1日に開設しました。紫野キャンパス同様、キャリア・アドバイザーによる個別相談、書類添削、面接対策等が受けられます。是非活用ください。（武井 慶太）
- 就職活動では、履歴書や面接で伝える内容を選択しなければなりません。「何を伝えれば印象が良いですか？」と、学生からよく質問があります。選考方法は採用担当者数だけ存在するので、内定への模範解答はありません。まず、受験先に対して自分が一番伝えたいことは何か。それを学生自身が見つけることで、文章や面接で素直な自分らしさを伝えることができるので、そこへ導くための適切な支援を行っていきたいと思います。（木村 昌裕）
- 就職活動は学生が社会人として自立するための苦しいプロセスであるともいえます。就職活動中には良い結果がでないとき、自分の将来について思い悩む時期もあります。そのような学生に、周囲の方々が接する上で本当に大切なのは「話を聴く」姿勢であると思います。こちらから何かを押しつけるだけではなく、話を聴いて一緒に共感をしてあげることで本人の気持ちに寄り添うことも時には必要です。キャリア支援部のスタッフとして、学生が自分自身の力で人生を切りひらいていくプロセスを全力で支援し、保護者の皆様とともに見守っていきたくて考えています。（田中 康雅）

◆宗教情操行事◆

佛教大学で送る学生生活の中で宗教情操行事に心と身体で触れ、現在そして将来と、意義ある日々を送られるよう願っております。



終了 新入生知恩院（祖山）参拝

4月5日、毎年恒例の新入生祖山参拝では、新入生一同で浄土宗総本山知恩院へ参拝いたしました。本学混声合唱団ならびにチアリーダー部の協力により音楽法要を盛大に実施し、日常と異なる雰囲気の中での講話に耳を傾けました。

終了 釈尊降誕会・法然上人誕生会

4月6日、お釈迦さまと法然上人のご誕生をお祝いし、導師を山極伸之学長、協導師に林俊光宗教教育センター長のもと、鷹陵館にて音楽法要を実施いたしました。開式前には学歌ならびに聖歌指導が行われ、法要後には世界の舞台でご活躍されている「ヴァサントマラ印度舞踊研究所」のシャクティーさんと研究所の方々より、インド舞踊が奉納されました。また、午後からは中庭にて甘茶供養と甘茶の配布を行い、多数の方に触れていただきました。



佛教大学授戒会

本学では毎年、大学行事として「授戒会」を開催しています。授戒会とは、仏教徒としての「戒」を授かり、証として「戒名」を授かる法会です。

これは、我々が人間として現にどのように生活して行けば良いのか、これからの生き方として真の人生を歩むための前向きな指針が示されるもので現在の自己を見つめる良い機会となるものです。

会場は昨年と同様、静寂な地にある嵯峨釈迦堂清凉寺において、2泊3日の日程で開催いたします。

清凉寺は、三国（インド・中国・日本）伝来の「生身の釈迦如来」がご本尊であり、法然上人が24歳の時、比叡山を下り7日間参籠されたという縁のあるふさわしい道場と言えます。

佛教大学で学んでいる機縁を大切に、是非とも多くの学生の皆さんに参加していただけることを希望しております。

なお、保護者の方も若干名ご参加いただけます。詳細および参加ご希望の方は、宗教教育センターまでお問い合わせ下さい。



▲写真は昨年の授戒会の様子です

《実施・申込概要》

【開催期間】9月9日（金）～11日（日）

【申込期間】6月15日（水）～7月15日（金）

【会場】嵯峨釈迦堂 清凉寺（京都市右京区）

※すでにご参加いただいた方の申し込みはできません。

【内容】講義・おつとめ・音楽法要・掃除・嵯峨野散策など

【費用】無料

【定員】60名*保護者若干名

◆宗教教育センターの発刊物◆ 『白道』 第30号

昨年度に実施した佛教大学ならではの宗教情操行事をはじめ、関連事業および発刊物をめぐる1年間を、多数の写真と共に記事にしています。

また、授戒会参加者による感想文、学内の懸賞企画で受賞した書道作品ほか、朝の宗教行事の講話担当者ならびに題目一覧など、宗教教育センターが主催する年間行事の概要がひと目でお分かりいただけます。

バックナンバー、その他の発刊物も含め、礼拝室にて常設配布いたしておりますので、是非ご利用いただきたく存じます。



◆今月のことば◆

学内の掲示伝道として毎月、法然上人の御法語や仏典の中から一節を掲示し、併せて、解説と関連事項を短く述べた「解説カード」を発行しています。

平成二十三年一月

啐啄同時

『碧巖録』

出典は宋代の仏典『碧巖録』七則・十六則。雛が卵の外へ出ようと殻を内からつつくことを「啐」、母鶏がそれに応じて殻を外からつつくことを「啄」といい、両者が一致し同時であったこそ雛は誕生することができる。これになぞらえ、仏教の修行において師弟の呼吸がぴったりと合って悟りの境地へ導くことをいう。

一般的にいうと、教育は、内的な自覚に基付き主体的・自発的に自ら内から向上しようとすることを、他から外から支援し促進して積極的・計画的に成長させる営みであるが、この語はまさにその教育の秘奥ともいべき根本的な機微をいい得て妙である。

(教育学部教授 竹内 明)

平成二十三年三月

すべてのものは移りゆく

急ることなく努めよ

『大般涅槃経』

私達が目で見、耳で聴き、手でさわることのできるもの、いわゆる在るものすべてのものは、停止しているものや常住のものはありません。

人間の存在は縁起(因縁)によって成り立っている。従って、条件が変わればその在り方も当然変化する。時間という条件をみると、時間が変わるにつれて人間もまた刻々と変化する。生まれて以後一時として同じ在り方のままでと

どまることはない。人間はこのように絶えず変化する存在である故にその時々存在としての精進が求められるのである。これは釈迦の説かれた諸行無常の意味にもつながるものである。

(社会福祉学部教授 林 俊光)

平成二十三年四月

何事とすにも 誠しき心なくては

成就する事なし

『十二箇条問答』

仏教では人間の一切の行為を身口意の三業として理解いたします。身業は身体的行為、口業は言語表現、意業は心意作用です。身業と口業は、意業から発動される行為ですから、いかに意業が大切であるかがわかると思います。

この法語は、「口業としてのお念仏には、意業としての「誠しき心」をそなえよ」という意味です。法然上人は表裏のない真実の心から発せられる真実のお念仏であればこそ、往生浄土が実現するのだと仰せなす。凡夫にとって、何事をなすにも身口意の三業を一致させることは容易なことではありません。しかし、常にそつありたいと求めつづけることは大切なことでしょう。

(仏教学部准教授 齊藤 隆信)

平成二十三年五月

笑いは人生の明り窓

『浄土宗達書111 人生の道しるべ』

「笑う門には福来たる」という諺もあります。笑うことは健康にも良い、とも考えられています。

す。すべての人を明るくする、心からの「破顔一笑」は、お互いを理解・尊重し感謝する心、よろこびの心が自然と表情にでたものでしょう。そういう毎日が過ごせるよう、心がけたいものです。

くれぐれも「作り笑い」「嘲笑い」「苦笑い」「冷笑をしたり、されることがないように。」「オレが」「ワタシが」ばかりの人、大丈夫ですか？

(仏教学部講師 曾和 義宏)

平成二十三年六月

池の水

人の心に似たりけり

『法然上人伝』

晴天無風で水面で跳ねる魚もおらず水面に落ちる虫もない、このような状況の時の池の水面は、実に静寂で鏡の如く周辺の景色を水面に照らしています。このような光景に出くわしたときは他では味わうことの出来ない感動が得られます。しかし、その水面に虫や木の葉が落ちたりすると、そこから波がたつて水面には波紋が広がり、更に雨降りになると水面は大きく乱れてしまいます。

人の心は、この水面のように何事もないときは穏やかでいられますが、大きな出来事であれば些細なことであれ他者の侵入があれば、それに感わされつい冷静さを失ってしまいます。自分自身を常にしっかりと持って、他者の侵入で足元ごと揺れ動いてしまうことのないようにしたいものです。

(社会福祉学部教授 林 俊光)

2011年度 佛大カレンダー

期別	月	日 程	事 項
春 学 期	3月	28日(月)～4月6日(水)	春学期在学生オリエンテーション
	4月	1日(金)	入学宣誓式
		1日(金)～6日(水)	紫雲祭
		1日(金)～30日(土)	学費納入延期・分納(春学期分または年間分)願受付期間
		1日(金)～30日(土)	佛敎大学教育後援会育英奨学生(春学期)出願期間
		2日(土)～6日(水)	新入生オリエンテーション
		4日(月)	留学生事務連絡会
		4日(月)	別科1学期授業開始
		5日(火)	新入生知恩院(祖山)参拝
		6日(水)	祝尊降誕会(花まつり)・法然上人誕生会
		7日(木)	春学期授業開始
		7日(木)	就活フォローセミナー(4回生対象)
		17日(日)・24日(日)・29日(祝)・30日(土)	春学期補講日
		21日(木)・22日(金)	教員志望者セミナー
		22日(金)	論文試験対策セミナー
		25日(月)	聖日法要・写経会
	26日(火)・27日(水)	就職全体ガイダンス(3回生対象)	
	30日(土)	学費納入期限(春学期分または年間分)	
	30日(土)	春学期休学または年間休学受付期限(1月6日～)	
	5月	1日(日)～5日(祝)・8日(日)・15日(日)・22日(日)・29日(日)	春学期補講日
		6日(金)・20日(金)	論文試験対策セミナー
		10日(火)・11日(水)	教員志望者セミナー
		12日(木)	福祉職対策セミナー(3回生対象)
		14日(土)	佛敎大学学費給付金(春学期)出願期限(3月22日～)
		20日(金)	佛敎大学学費貸付金(春学期)出願期限(3月22日～)
		22日(日)	還恩の会
		24日(火)	就活フォローセミナー(4回生対象)
		25日(水)	聖日法要・写経会
		25日(水)	話し方セミナー(教職)
		31日(火)	卒業論文題目提出期限(9月卒業)・修士論文題目提出期限(9月・3月修了)
31日(火)		教員ガイダンス(1・2・3回生対象)	
6月		1日(水)～30日(木)	佛敎大学育英奨学生・佛敎大学課外活動奨学生出願期間
		3日(金)	論文試験対策セミナー
		5日(日)・12日(日)・19日(日)・26日(日)	春学期補講日
	8日(水)	話し方セミナー(教職)	
	中旬	学長主催留学生文藝会	
	15日(水)～7月15日(金)	授戒会申込受付期間	
	16日(木)	就活フォローセミナー(4回生対象)	
	23日(木)	福祉職対策セミナー(3回生対象)	
	24日(金)	聖日法要・写経会	
	28日(火)・29日(水)	就職全体ガイダンス(3回生対象)	
	30日(木)	学費納入延期・分納許可者学費納入期限(春学期分)	
	30日(木)	社会福祉ガイダンス(1・2・3回生対象)	
	7月	1日(金)～9月30日(金)	秋学期休学受付期間
		3日(日)・10日(日)・17日(日)・24日(日)	春学期補講日
		5日(火)・6日(水)	教員ガイダンス(1・2・3回生対象)
8日(金)～9月30日(金)		宗教教育感懐作文作品募集期間	
11日(月)～30日(土)		春学期復籍手続期間	
14日(木)・26日(火)		就活フォローセミナー(4回生対象)	
18日(祝)【海の日】		通常授業日	
27日(水)		春学期授業終了	
28日(木)～8月3日(水)		春学期定期試験	
30日(土)		卒業論文・卒業研究・卒業レポート・修士論文提出期限(9月卒業・修了)	
8月		4日(木)～31日(水)	夏期休暇
		4日(木)・5日(金)	教員2次試験対策セミナー
		9日(火)・10日(水)	短期海外語学研修(韓国)
		6日(土)～23日(火)	春学期追試験(予定)
		11日(木)・12日(金)	佛敎大学学費給付金(秋学期)出願期間
	20日(土)～10月15日(土)	佛敎大学学費貸付金(秋学期)出願期間	
	24日(水)～9月11日(日)	短期海外語学研修(B.U.L.A.)	
	25日(木)～9月7日(水)	短期海外語学研修(中国)	
	25日(木)～9月7日(水)	9月卒業・修了対象者・卒業・修了口頭試問	
	集中 秋 学 期	1日(木)～17日(土)	集中講義
		1日(木)～30日(金)	学費納入延期・分納(秋学期分)受付期間
		1日(木)～30日(金)	佛敎大学教育後援会育英奨学生(秋学期)出願期間
		8日(木)	就活フォローセミナー(4回生対象)
		9日(金)～11日(日)	授戒会
		10日(土)～17日(土)	秋学期在学生オリエンテーション
11日(日)		大学院修士課程・社会人修士課程・成績優秀学生修士課程・留学生修士課程(9月)入学試験	
19日(祝)【敬老の日】		秋学期授業開始・通常授業日	
中旬		留学生事務連絡会	
20日(火)・21日(水)		就職全体ガイダンス(3回生対象)	
25日(日)		AO選抜本選考・大学院修士課程・成績優秀学生修士課程・留学生修士課程(9月)	

期別	月	日 程	事 項
秋 学 期	9月	25日(日)	【教育学研究科のみ】成績優秀学生博士後期課程 学位記・卒業・修了証書授与式(9月卒業・修了) 聖日法要・写経会
		26日(月)	企業ガイダンス(3回生対象)
		27日(火)・28日(水)	学費納入期限(秋学期分)
	10月	1日(土)～31日(月)	佛敎大学同窓会奨学生出願期間
		2日(日)	学内法定点検(紫野キャンパス内全域停電・立ち入り禁止)
		4日(火)	企業ガイダンス(3回生対象)
		6日(木)	福祉職対策セミナー(3回生対象)
		7日(金)	就活フォローセミナー(4回生対象)
		9日(日)・16日(日)	秋学期補講日
		10日(祝)【体育の日】	通常授業日
		中旬～12月上旬	福祉関連職に就職したい人のセミナー(1・2・3回生対象) 特別推薦(教育連携校・指定校・課外活動・スポーツ強化校)・宗門後継者・同窓・帰国生徒・留学生1年次入学・編入学(10月)・指定校推薦編入学・編入学(10月)・社会人1年次入学・編入学(10月)入学試験
		16日(日)	創立記念日
		中旬	留学生研修旅行
		23日(日)	創立記念日
		25日(火)	聖日法要・写経会
		30日(日)～11月1日(火)	鷹陵祭
		31日(月)	卒業論文題目提出期限(3月卒業)・修士論文題目変更期限(3月修了)
		11月	3日(祝)・6日(日)・13日(日)・20日(日)・27日(日)
	6日(日)		還恩の会
	8日(火)・9日(水)		公務ガイダンス(1・2・3回生対象)
	10日(木)		企業ガイダンス(3回生対象)
	中旬～12月中旬		女子学生のための就職セミナー(3回生女子対象)
	13日(日)		学内法定点検(二条キャンパス内全域停電・立ち入り禁止)
	15日(火)・16日(水)		教員ガイダンス(1・2・3回生対象)
	中旬		佛敎大学留学生スピーチコンテスト
	中旬～12月中旬		業界研究セミナー(3回生対象)
	22日(火)～24日(木)		公募制推薦入学試験
	25日(金)		聖日法要・写経会
	30日(日)		学費納入延期・分納許可者学費納入期限(秋学期分)
	12月		1日(水)
2日(金)・5日(月)・7日(水)			話し方セミナー(一般企業)
4日(日)・11日(日)・18日(日)・23日(祝)～28日(水)			秋学期補講日
6日(火)		就職成道会	
12日(月)～24日(土)		秋学期復籍手続期間	
13日(火)・14日(水)		企業ガイダンス(3回生対象)	
20日(火)		卒業論文・卒業研究・卒業レポート・修士論文提出期限(3月卒業・修了)	
26日(月)～1月4日(水)		冬期休暇	
1月		5日(木)	始講式・秋学期授業再開
		5日(木)～4月28日(土)	春学期休学または年間休学受付期間(2012年度)
		5日(木)～31日(火)	転学部・転学科許可願提出期間
		8日(日)・9日(祝)・22日(水)・29日(日)	秋学期補講日
		11日(水)	就活フォローセミナー(4回生対象)
		12日(木)	社会福祉ガイダンス(1・2・3回生対象)
		14日(土)・15日(日)	大学入試センター試験(本会場有り)
	16日(月)～2月28日(火)	再入学受付期間	
	24日(火)	秋学期授業終了	
	25日(水)	法然上人御忌会	
	25日(水)～31日(火)	秋学期定期試験	
	31日(火)	祝尊降誕会	
	2月	1日(水)～3日(金)	一般入学試験A日程・特別推薦(法人系列校)入学試験
		1日(水)～3月14日(水)	転籍受付期間
		4日(土)～10日(金)	3月卒業・修了対象者・卒業・修了口頭試問
6日(月)～10日(金)		学内企業(事業所)説明会	
6日(月)～10日(金)		面接マン講座	
8日(水)・9日(木)		秋学期追試験(予定)	
中旬～下旬		短期海外語学研修(C.O.D.)	
19日(日)		大学院修士課程・社会人修士課程・成績優秀学生修士課程【臨床心理学専攻を除く】・留学生修士課程(2月)・大学院博士後期課程・社会人博士後期課程・成績優秀学生博士後期課程【生涯教育・社会福祉学専攻】・留学生博士後期課程・編入学(2月)・社会人1年次入学・編入学(2月)・留学生1年次入学・編入学(2月)・別科・転籍・別科入学試験	
3月		3日(土)	大学院修士課程・成績優秀学生修士課程・留学生修士課程(2月)【教育学研究科のみ】面接試験
		5日(月)・6日(火)	一般入学試験B日程
		13日(日)	留学生送別会
		14日(水)	学位記・卒業・修了証書授与式(3月卒業・修了)
		15日(木)	学内法定点検(紫野キャンパス内全域非常放送鳴動)
		21日(水)～5月15日(火)	佛敎大学学費給付金(春学期)出願期間(2012年度)
		21日(水)～5月19日(土)	佛敎大学学費貸付金(春学期)出願期間(2012年度)
	26日(月)～4月上旬	春学期在学生オリエンテーション(2012年度)(予定)	

※ 7月18日・9月19日・10月10日は祝日ですが、授業日確保のため、通常授業日です。